

山形県 戸沢村

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくらう

とざわむら 議会だより



2p 12月定例会 補正予算12,100万円を可決 総額517,100万円に

3p 常任委員会報告 総務文教・産業建設 みんなの請願・陳情

4・5p 村政に活かせ！政策提言 議会日誌(10月～12月)

6～11p 一般質問 5議員が登壇し、村政を問い直す！

12・13p 中央要望活動・豪雨災害要望活動 議会見学の感想

14p 地域の歳時記 表紙の言葉・編集後記

2019 No. 130

2018年12月定例会



学校敷地内からJR防雪林へ流出状況



十二沢現地調査

12月6日生徒、児童の
学び舎、戸沢小・中学校
敷地内の雨水排水状況を
調査、確認をいたしました。
現在の排水能力と今後
における雨水の排水を、
どの様にすれば効果的な
排水対策を行えば良いの
か担当課長から説明を受
けて設計、工事のあり方
など委員から意見が出さ

12月定例会の請願につ
いて、当委員会分は三案

産業建設

産業建設常任委員長
富樫 義人

総務文教常任委員長
小野 宏

れました。
今後意見を集約した設
計、工事方法を委員会に
提示してもらい効果的な
雨水・排水対策を考えて
行きたいと思えます。

総務文教

常任委員会報告

件あり、村道認定と整備
に関して、現地調査を実
施し、改良の必要性を確
認した。

小規模企業振興基本条
例の制定を求める請願は、
関係市町村との連携を図
ることとし、またライド
シェア導入に反対し、安
全・安心なタクシーを国
に求めることとした。
これらの結果、三付託
案件ともに採択すべきも
のとして、報告を行った。

みなさんの請願・陳情

事 件 名	提 出 者	請願・陳情の要旨	採択理由
村道（仮称、十二沢三ツ屋線）認定と整備について請願	戸沢村大字角川3 1 1 十二沢地区 会長 秋保 敏明	本道路は掘割で狭小のため、緊急車両などの乗り入れが困難で、早急な村道認定と整備の実施をお願いしたく請願いたします。	利用者の交通利便を図るため。
（仮称）小規模企業振興基本条例の制定を求める請願	最上郡真室川町大字新町2 3 2 - 9 もがみ北部商工会 会長 高橋 智之	本商工会管内においても、小規模企業対策の一層の推進を図るため、（仮称）小規模企業振興基本条例を制定されますよう請願いたします。	小規模企業の成長と事業の持続的発展及び地域経済の活性化を図るため。
ライドシェア導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める請願	山形市大字漆山 字行段1 4 2 2番地 一般社団法人 山形県ハイヤー協会 会長 石川 康夫	ライドシェアは、事業主体が運転者の仲介のみで、安全確保や利用者の保護等の観点から大きな問題が生じることが懸念されている。ライドシェアの導入に反対し、容認を行わないことを求めるため請願いたします。	安全・安心で快適・便利なタクシー事業の維持・確保のため。
相次ぐ災害に対する特別交付税の増額を求める意見書提出の請願	最上郡戸沢村大字古口2 9 3 9 - 2 戸沢村労農協議会 議長 影澤 智志	相次ぐ甚大な災害の発生に鑑み、被災自治体が財政面で安心感をもつて的確に復旧・復興、被災者支援に取り組めるようにするため、国による財政支援への明確な担保と長期的な支援が必要と考えるため請願いたします。	被災自治体が財政面で安心感をもつて的確に復旧・復興、被災支援に取り組めるようにするため。

補正予算
12,100万円を可決
総額517,100万円に

平成30年
12月
定例会

12月定例会は5日から7日までの3日間の会期で行われた。平成30年度補正予算4件、条例関係6件、請願4件が付託され、全議案を可決した。
一般質問には、5議員が登壇し、村長としての4年間の総括や養豚関連の情報や今後の対応などまた、保育・教育施設に関する内容さらに、8月の豪雨災害から防災対策等と合わせ、命を守る視点からAEDに関し、広範な内容により討論を重ねた。

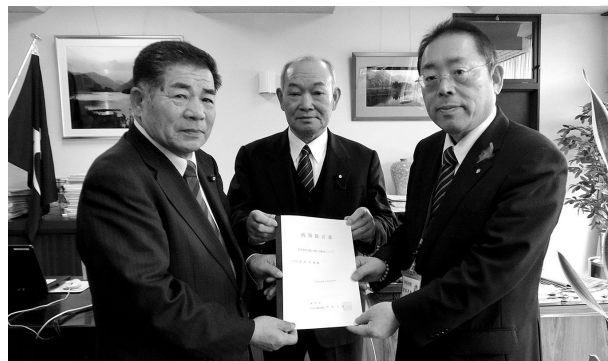
平成30年度 戸沢村一般会計補正予算（第4号）

○主な補正内容（歳出）

総 務 費	△14,718千円
民 生 費	△10,324千円
衛 生 費	△14,828千円
農林水産費	
天ヶ沢地区排水路整備事業費外	13,696千円
教 育 費	△12,208千円
災害復旧費	
農林水産業施設災害復旧費	160,100千円

今定例会における条例の設定及び改正について

議第	設定・改正	条例内容	提案理由	採 決
66号	改 正	戸沢村特別職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	一般職の職員の給与改定に伴い、特別職の期末手当を改定するもの。	採 択
67号	改 正	戸沢村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	公務員給与勧告が出されたことに伴い、人事院勧告、県人事委員会勧告並びに近隣市町村の動向を加味し、勤勉手当を改定するもの。	採 択
68号	改 正	戸沢村立保育所設置条例の一部を改正する条例	0歳児保育を希望する保護者の要望に応え、収容定員を155名から5名増やし、0歳児の受け入れを図る。	採 択
69号	設 定	戸沢村生涯学習センターの設置及び管理に関する条例	村民の学習意欲と教養を高め、生活文化の向上や生涯学習の推進とスポーツ活動の推進を図るため、旧神田小学校を「戸沢村生涯学習センター」として設置する。	採 択
70号	改 正	戸沢村生涯教育施設の管理運営協議会に関する条例の一部を改正する条例	戸沢村生涯学習センターの設置及び管理に関する条例設定につき、これを生涯学習対象施設に加えるもの。	採 択
71号	改 正	戸沢村若者総合施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	戸沢村若者総合施設の管理を、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づいて指定管理者が行うことができるよう改定するもの。	採 択



議長・副議長から政策提言書を村長へ

村政に活かせ！ 政策提言

議会全員協議会及び各常任委員会において検討し、平成31年度予算編成にあたり、村民の安心安全、福祉向上など住みよい村づくりが図られるよう、12月20日、村長に対し政策提言書を提出しました。

回答は、1月末日を予定しておりますので、今後も確認・協議を行ってまいります。

1. 安全・安心で住みよい「むらづくり」 〈全議員〉 〈豪雨対策に係る継続した対応について〉

8月に被害を受けた道路・農地・山林や河川等の復旧に向けた対策事業を、関係機関より予算化いただいているものの、米を中心とした収量における共済制度の補償面が心配され、来年の農業経営に不安を感じている方々が多くありますことを、今後の対策課題とし、以下の支援をお願いいたします。

①災害が発生しない為の協議・対策の実施及び取組み強化を村主導で各機関へ対応いただきたい。

②更なる河川管理と住民が納得できる内水対策の取組み強化と協議の要請をいただきたい。

③農産物・農地等への被害が予想以上にあり、次年の作付等に希望を持つて耕作できる対応をお願いします。

2. 人口減少対策 〈産業建設常任委員会〉 〈子育てしやすい「むらづくり」〉

この3年間の出生者数は、平均25人程度と減少の傾向にあります。これまで、小中一貫校や統合による保育所が新設されたものの、村内出生者全員が0歳児として入所できないために、住所異動し新庄市内の保育所へ入り、成長後も村内には戻らなかった事も聞いており、企業誘致はほぼ難しい現実から働く場所は新庄市、生活は当村となるよう、利

点を最大にアピールしながら、子どものいる世帯を呼込む手法を具体的に取り組まないと、せっかくの新施設を活かすことはできない昨今にあり、担当者以外の発想や視点で、考えてみてはいかがでしょうか。

①集合住宅による子育て対象の増（真柄住宅の見直し・所得制限の撤廃等々）

②プロジェクトチームの発足（議員と職員による）

3. 暮らしを守る弱者対策 〈総務文教常任委員会〉 〈福祉の「むらづくり」〉

高齢者率が39%を迎える中、75歳以上の方は1000人を超えている状況にあり、一人暮らしの方も今後増える傾向にあるようです。

体力に限界を感じている方も増え、自分の事は自分でやる意識は大切なものの、骨折等のケガが起因し痴呆・ねたきりになってしまうケースを聞きます。

このような中で、自分でやれる事と手伝ってもらう事の区別をし、村や地域・近所による支援を行うシステムづくりを模索いただきたい。

①高齢者、障害者への福祉の充実
「住み良い村づくりの冬期間における間口除雪の構築」

②高齢になっても、住み慣れた地域で生活できる支援体制の充実
「日常生活支援」

③バス事業の大幅な見直し
「利用者目線の事業展開」

議会日誌（10月～12月）

10月

2日 四町村議会議員合同交流会
3日 広域事務組合10月定例会
商工行政懇談会（北部商工）
まごころ荘敬老会
4日 村山・最上両地方議長会
もがみ大産業まつり
6日 友愛園市民ふれあい運動会
議長杯グラウンドG大会
7日 吉村美栄子と語る会（山形）
8日 最上地区グラウンドG大会
災害要望会（県内関連機関）
9日 新庄河川事務所長へ要望会
10日 最上広域連合 議運・全協
11日 最上を拓く高規格道路大会
12日 最上地方 議会議員研修会
13日 村青少年健全育成フォーラム
16日 町村議会議員研修（山形）
県議会建設常任委員会
（災害箇所視察のため来村）
19日 石巻・酒田間地域高規格道路整備促進に関する懇談会（東京）
20日 桜回廊植樹（戸沢小中学校）
22日 議会全員協議会・広報委員会
23日 県・市町村行政懇談会（県庁）
最上地区広域連合定例会
24日 229回最上県勢懇談会
村議会中央要望会
25日 例月出納検査
26日 戸沢学園文化祭
28日 2同盟会合同要望会
29日 （湯沢河川国道事務所）
31日 2同盟会合同要望会
（山形・仙台・国の機関等）

11月

1日 町村監査委員全国研修会 東京
2日 とざわ旬の市・芸術文化フェスティバル
4日 最上ふるさと連合会総会（東京）
5日 最上市町村議会議長会要望活動（県内・仙台・東京関連機関）
8日 東京戸沢会チャリティイー物産市
11日 最上の地域医療を考える住民のつどい
12日 最上地区広域連合研修
15日 森の感謝祭（ぼんぼ館周辺）
16日 最上川の想いを語る
17日 （最上川中流直轄河川改修記念）
18日 戸沢福祉フォーラム
19日 最上市町村議長会視察研修都内
21日 町村議長全国大会及び荘内地方合同要望・行政政セミナー
26日 議会運営委員会
27日 もがみ未来創造フォーラム
30日 村執行部と行政懇談会
議会全員協議会

12月

1日 そば焼酎「そば街道」試飲会
5日 12月定例会
7日 新庄金山道路起工式
9日 スポーツ基金運営委員会
12日 最上市町村議長会例会及び自治振興研修会
13日 双葉荘クリスマス会
14日 豪雨災害時支援に対するお礼（神奈川県中井町）
15日 最上広域事務組合 議運
17日 最上地区広域連合 議運・全協
18日 雪ばななブレデビュー
19日 例月出納検査
20日 最上県勢懇談会例会
21日 議会広報委員会
25日 最上地区広域連合12月定例会
26日 最上広域市町村議会12月臨時会
市町村長と意見交換会
村共有推進研究所全員研修会

一般質問



加藤 文明 議員

アームも具体的に動き出しており農業振興に大いに期待しています。
問 5期目挑戦への想いはなにか伺いたい。
村長 行政の原点は住み良い社会作りに取り組みます。協同の心を大切に、個人や地域で対応できないときは行政が関

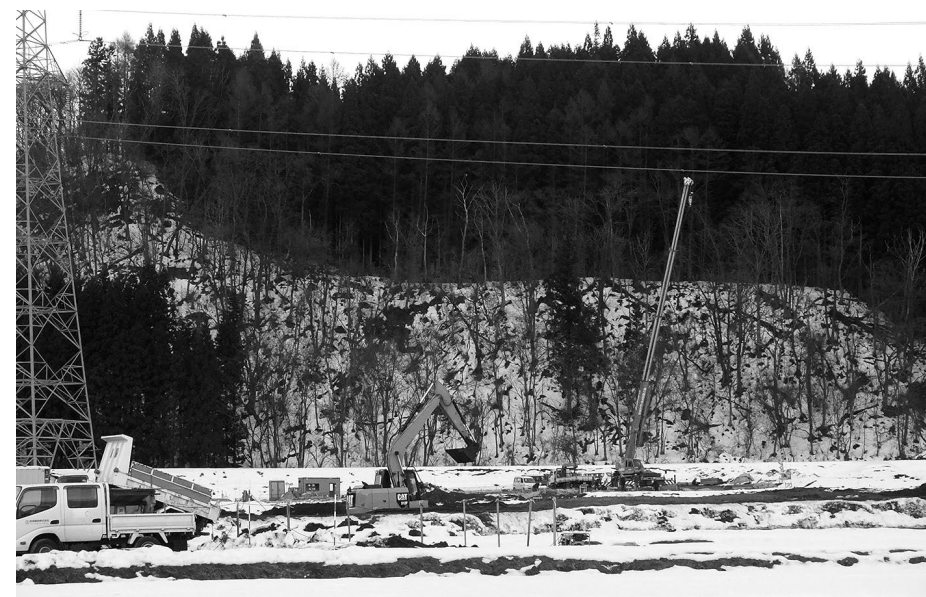
わっていくことが協働の村づくりを進める場合、重要なことになってきます。
 地域の連携、地域資源の有効活用を視点に、安心・安全な村づくりの実現に向け邁進して行きます。



自走マニアスプレッダ

村政四期目を問う！

問 村長の四期目、四年間をどのように総括するのか伺いたい。
村長 異常気象災害にあつては村民の安心・安全は最優先しなければならぬ最重要行政課題がある。
 昨年8月には二度にわたる豪雨災害で村内各地に甚大な被害が発生した、今後の復旧復興に向けては全力で対応していきま



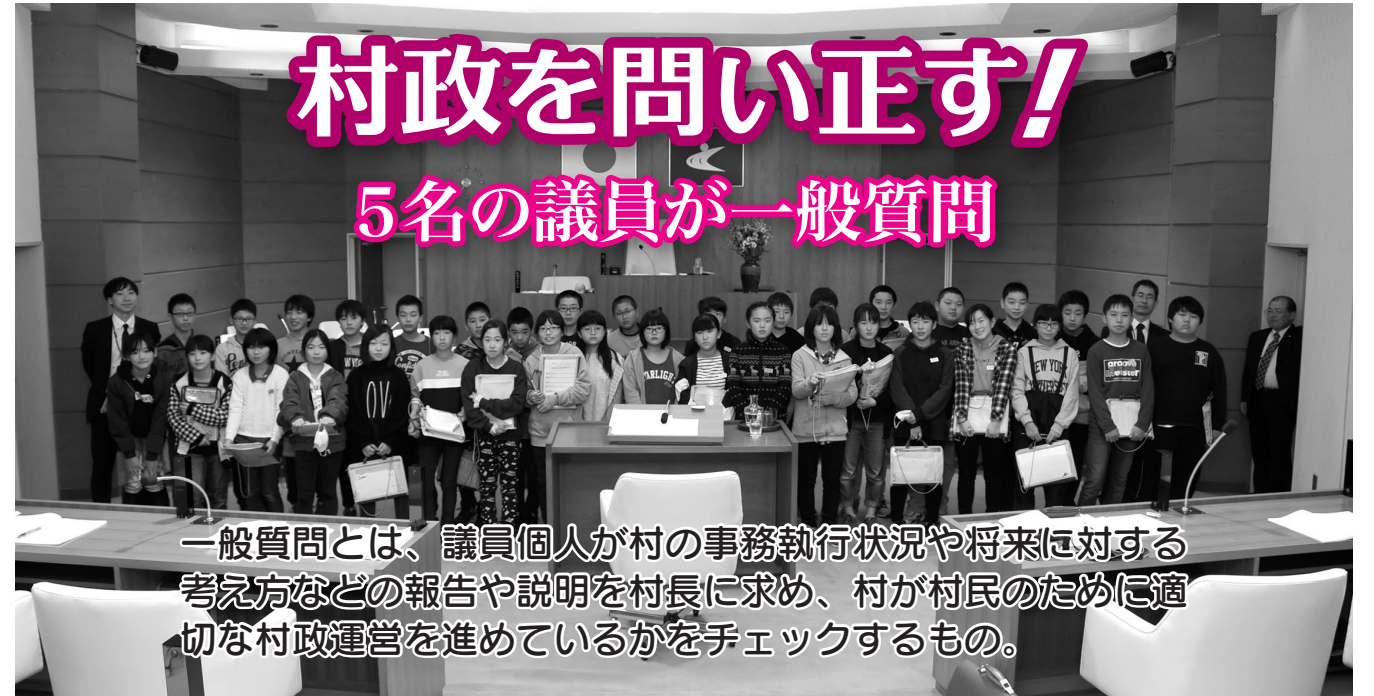
養豚建屋工事現場

問 養豚施設山形戸沢ファームの工事工程と飼料用米取扱計画の交渉経過はどのように進んでいるか伺いたい。
村長 行程会議を12月4日開催し、今後の工程を確認しました。第1期工事を11億5千万円の予算で建設計画が進んでいきます。飼料用米取扱計画については、ライスセンターの老朽化に伴う改

修計画も含めJAおいしいものがみの幹部と取り組み強化について協議を重ねていきます。
問 豚糞の散布形状の発案はあるのか伺いたい。
村長 マニアスプレッダ散布の場合豚糞は粉末状のため周囲に飛び散る難点がある。もみ殻やおがくずなどを混合する改善法について検討していきます。

山形戸沢ファームについて

村政を問い正す！ 5名の議員が一般質問



一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

加藤文明議員 (7ページ)

- 6月定例会において5期目の出馬表明をされた村長は、この4年間をどう総括しているか。
- 第4次総合計画も後期にあたり「自助・共助・公助」を柱とし、村づくりを目指す5期目挑戦への思いはなにか。
- 養豚施設山形戸沢ファームの第1期造成工事が終了し、いよいよ建屋工事着手の作業予定と変更点を伺います。
- 同上の開業にむけ、飼料米取扱計画やライスセンター利用、改修計画等戸沢ファームとJAおいしい最上の交渉経過はどのように進んでいるか。
- 低コスト農業に欠かせない豚糞の活用として、散布方法の発案はあるか。

早坂信一議員 (8ページ)

- ◆防災政策について 【村の考え方を伺います】
- ①過日の災害発生時の教訓を活かして村民の安全安心の為、避難新基準の構築が必要と考えます。
- ②地域防災用品として、液体ミルクの必要性が高まっています。
- ③災害現場の情報収集、伝達等、様々な活用法が期待できる防災用ドローンが必要と考えます。

加藤政一議員 (9ページ)

- ▲小中学校体育館の柔剣道場廊下の壁・床の結露原因と対策について伺います。
- ▲保育所が統合し、保育業務が運営され8ヶ月が経過しましたが、今後の業務に向けた課題と保育行政を今後どのように進めていくのか伺います。
- △これまでの機構改革の課題から真の住民福祉向上を目的とした機構改革になっているのか伺います。

小野 宏議員 (10ページ)

- 戸沢村地域防災計画について伺います。
- ①現行豪雨災害時の役場庁舎設置の対策本部の設置で良いか。
- ②避難場所における施設の設備(非常用電源・冷暖房等)や機材について伺います。
- ③村の土砂災害危険箇所の事前周知や警戒区域については、ドローンを活用し住民周知の必要性を伺います。
- ④河川重要水防箇所(県管理)の水位観測所の必要性。
- 2回に及ぶ甚大な被害をもたらした豪雨災害で、避難場所や河川・農地をどのように総括し、今後の対応に活かしていくのか伺いたい。
- ①田沢川上流(県管理)の村としての対応。
- ②河川全般の支障木・土砂の堆積等の今後の対応はどうか。

岡田孝一議員 (11ページ)

- ★仮称 生涯学習センター(旧神田小学校)開所内容について伺います。
- ①生涯学習センターの利用並びに運営形態。
- ②子供たちへの屋内外遊戯施設整備計画について。
- ③宿泊施設整備計画の有無と検討内容について。
- ★村民の命を守るAEDの設置状況及び使用状態を伺います。
- ①村のAED設置はどのような状況か。
- ②村民への周知や講習実績について。
- ③村内の民間施設における設置状況。

一般質問



加藤 政一 議員

学校施設管理を問う！

問 9月27日に開催された中学3年生による村への提言にもあった、小・中学校体育館の柔剣道場廊下の壁・床結露の原因と結露対策について伺います。

村長 体育館は平成25年10月完成、翌年の梅雨時期に一階部分で結露が発生し、10月の12ヶ月点検時には、異常は見られず、見解としては、RC構造の建物なので三・四年はコンクリートの水分が抜け切れず結露が発生する場合もあり、学校に対して「換気と結露の拭き取り・カビの清掃」のお願いをしてきました。以降29年まで改善が見られなかったため、除湿機の設置や換気扇の工事等対策を講じてきました。

問 本年、11月7日に地下ピットに入り、全てのピットを確認したところ、最も奥のピット空間に20cm程度の水が溜まっていました。各ピット空間は、貫通口で繋がって、水が排出される構造ですが、貫通口が人工物で塞がれて、水が排出されない状況を確認しました。なぜ、塞いだ状態になっていたのか、現在調査中です。対策として、塞いでいる物を除去し排水ポンプによる排水作業を実施し、ピット内の水を全て抜いた状態から変化を観察してなぜ水が溜まるか調査中です。

問 対策を講じた結果どう改善が図られたのか。



小中学校体育館

共育課長 12月4日に地下ピットに入り、確認したところ少し湿気ていた。その周りを点検した結果、原因と思われる所が出てきました。設計業者と協議し、原因の対策をし梅雨時期でないと、それが原因か判らないのではありません。様子を見たいと思います。

問 水が溜まるのは、設計上か、施行上か、地下構造上か。瑕疵担保はどうなのか。

共育課長 12月4日の調査時では、施行上の問題です。

総務課長 瑕疵担保は建設工事請負契約約款で10年です。



保育所の様子

問 保育所が統合し、8ヶ月経過しました。今後の保育業務に向け課題を明らかにし、保育行政をどう進めていくのか。

村長 11月末現在0歳児から5歳児まで112名が入所しています。通所状況は早朝保育に42名、延長保育に55名で、早朝・延長保育の希望者が多くなっています。それらに対応するため、保育士は、7グループに分かれ勤務

今後の保育行政は！

しています。

開設から現在までの状況は、電話対応や業者等の来客対応に迫られるため、一人が事務室から離れられず、複数の保育士が休みの場合、代替保育士が確保できず早朝・延長保育に多くの保育士が追われることも多々あります。31年度は保育士の増員と事務職種の職員の配置も検討しています。

災害対策を問う！



8月の豪雨災害状況(角川地区)

一般質問



早坂 信一 議員

防災政策について

問 過日の豪雨災害の教訓として非難新基準が必要と考えるがいかがか。

村長 気象台のデータをしっかりと分析し空振りを恐れず早めに避難準備情

報を発令します。

問 自家用車、農業機械等の避難呼びかけも新基準で行うべきだ。

村長 車等の被害も認識しており対応を進めます。

「液体ミルク」について

問 震災時に仙台や石巻で断水、お湯が沸かせない等で乳児のミルクが作れず大問題になりました。安全安心な国産液体ミルクが認可されましたので

戸沢村として全国に先駆けて導入すべきでは。

村長 経緯を見守り検討します。

問 常温保存で飲むことが可能な為、保育所での



国産液体ミルク



カメラが搭載されているドローン

防災ドローンについて

使用では乳児に安全、保育士の負担軽減になります。いかがでしょうか。

村長 総合的に判断します。

問 災害時の情報収集等の為防災ドローンの活用が必要と考えます。いかがでしょうか。

村長 役場内で検討します。

問 改正航空法によりオペレーター養成が急務と思うがいかがか。

村長 検討します。

一般質問



岡田 孝一 議員

新設の生涯学習センターを問う！

問 仮称 生涯学習センター（旧神田小学校）開所内容の利用並びに運営形態はどうなるのか。

村長 センターの利用は、生涯学習の拠点として、各種団体の活動や運営に関わる会議の開催や、文化的な活動の更なる振興に向けて生涯学習講座等の開催と生涯スポーツや体力向上の推進のための事業を行っていきます。運営形態は指定管理者に委託を考えています。子供たちへの屋内外遊戯施設整備計画をどう考えているか。

村長 生涯学習センター内で孫育て交流サロン等の企画や施設の一部開放など予定しているが、他地区とのバランスもあることから屋内外遊戯施設



旧神田小学校が生まれ変わります(右側)

整備は現在計画しています。利用率の向上のためには、子供連れの方々が利用しやすい環境整備が必要と考えます。今後再考を願いたい。

共育課長 検討致します。宿泊施設整備計画の有無と検討内容を伺いたい。

村長 これまで、宿泊施設も兼ねた施設として、県・消防本部と協議を行

ってきたが、不特定多数が入る宿泊施設となると、大規模改修が必要で約二億五千万強となることから現段階、見合わせているところです。

今後は利用状況や各種団体のニーズを踏まえ、宿泊施設のあり方を再検討してまいります。

問 前も申し上げましたが隣接する、旧保育所を宿泊施設として再利用の考察はないか。

共育課長 現段階で、介護施設での問い合わせがありますが、検討致します。

問 村民の命を守る、A

ED設置状況と村民への周知や講習。村内民間施設の設置状況を伺います。

村長 村の公的施設に設置し、いずれも施設開設時間のみ使用可能です。講習状況は、消防団員や役場職員・保育士・村内各事業所・自主防災組織などでも行っています。

村内民間施設では、まごころ荘と燦燦です。

問 緊急用として、夜間使用できる状況をつくるため、柏沢や角川地区の「こはな」やコンビニ等への設置ができないか。

健康福祉課長 次年度予算で検討します。



役場内に設置してあるAED

『豪雨対策本部』の現状を問う！



田沢川被害調査

問 停電時における非常用電源、暑さ寒さをしのげる冷暖房機具を設置してはどうか伺います。

村長 中央公民館は太陽光発電で家電等の使用は可能となっている。南部地区地域振興センター、戸沢小・中学校に

は非常用電源がなく今後は、電源確保を第一に必要な資機材を配備して行きます。

問 村の土砂災害危険箇所、土砂災害警戒区域に住み暮らしている方々に事前周知してはどうか。また、今回の豪雨で大

きな山腹崩壊があると思われる事から、崩落の現状をドローンを活用して撮影しハザードマップと合わせ各公民館に置き閲覧出来るようにしてはどうか伺います。

村長 本年度末に、土砂災害及び洪水をメインとした、ハザードマップが完成し全戸配布予定です。今回山腹崩壊した現状をドローンで撮影した崩落の現状を掲載する事で、防災意識の向上に繋がるように努力する。

問 田沢川上流（通称三山）について、今豪雨により右岸左岸とも崩落し、甚大な災害となり農地まで被害が及んでいます。今後の村としての対応を伺います。

産業振興課長 田沢川氾濫による農地崩落であるため、村建設課とも協議し最上総合支庁河川砂防課と現場確認、調査し対応策を協議した。

村として被災現場の現状を訴え、来年度も作付け生産に繋がるよう対応策を考えていきます

一般質問



小野 宏 議員

問 役場庁舎の玄関先まで水が押し寄せ、支援や応援を要請しても本部まで行き来出来ない状況では本部機能が万全に発揮出来ないと思われる。今後における庁舎耐震

化工事に数億出資するよりは、耐震化となっている廃校舎の有効利用をしてはどうか。

すぐに出来るものではないが、地区会長や地区座談会等の会合で、本部の今後のあり方を提示検討してはどうか伺います。

村長 現状として移設は現実的に不可能と思われるが、1/1000の確率で庁舎が72時間水没することが見込まれることから今回を契機に議論の必要性はあると認識している。



8月豪雨災害状況(古口地内/最上川上空から)

指定避難場所施設の設備、機材は万全か。



議会見学をして感じたこと 戸沢小学校6年生

ぼくが、初めて議会見学をして思ったことは二つあります。一つ目はそれぞれの議員さんが戸沢村をよくするために意見を述べたり、意見に対する賛成か反対などを、話し合っていたことがすごいなと思いました。二つめは、議員の方が、たくさん意見を言っていたことでした。それに対して村長さんは、答えることが大変だったと思います。

議会の中で真剣に話し合いをすることで、村がよくなるための意見がたくさんでると思いました。また、その二人だけが大変ではなく、その周りの議員さんたちも、質問議員さんが言ったことを、ちゃんとメモしていたところもありました。

ぼくは、この議会を見てすごくおもしろいなと思いました。

戸沢小学校6年生の児童35名が12月5日に12月定例議会を傍聴見学にきました。全員の感想を掲載したかったのですが、紙面の都合で2名の児童の感想を掲載しました。氏名については、教育的配慮で記載しませんでした。



質問席を体験

私は、議会を見て議員さんが、村の人々の気持ちを考えて、はなしていることが、すごくわかりました。特に去年8月にあった災害の事についてひなん場所をどうするかなど、きもんをはっきりさせて分かりやすいなと思いました。

また、質問議員を中心に、議長さんが一番高い席に座っていました。議員さんたちと、役場の課長さんたちがわかいあっていました。

議会見学に、また行ってもっと学びたいです。



一般質問に関心があり、説明中の議員



議長になりきってます

I. 平成31年度予算に向けた中央要望活動

10月24日(水)村政における重要課題の要望会を全議員9名で、県選出国会議員の皆様を実施しました。要望の内容と要望先については、下記のとおりです。

要望先

加藤 鮎子 衆議院議員

大沼 瑞穂 参議院議員

舟山 康江 参議院議員



要望内容

- ①平成30年8月豪雨災害を踏まえた戸沢村蔵岡地区の角間沢川排水対策について
- ②鮭川右岸津谷地内法面崩落対策について
- ③村道西沢線道路改良工事の予算確保について
- ④最上川舟下りルート河川敷内の支障木の伐採及び最上峡さくら回廊の整備について

要望先

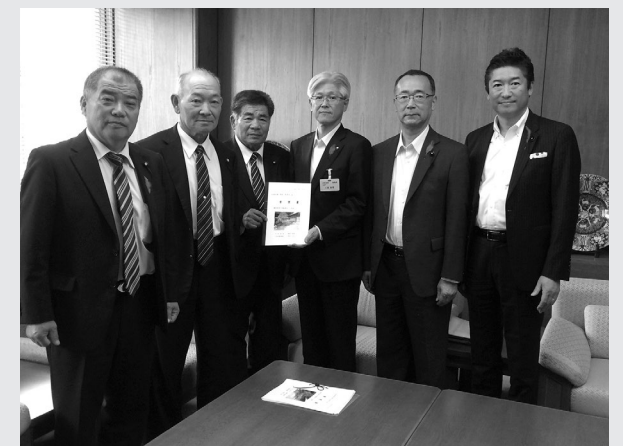
遠藤 利明 衆議院議員
鈴木 憲和 衆議院議員

要望内容

平成30年8月豪雨災害を踏まえた戸沢村蔵岡地区の角間沢川排水対策について

II. 豪雨災害に関する要望活動

- ①9月7日 中央要望（村長・議長・副議長）
- ②9月11日 伊藤県議会議員（議会）
- ③9月20日 小松県議会議員（議会）
- ④10月9日 県内関係機関 森林管理署・JA・最上総合支庁・農業共済組合・県議会・県庁（議長・副議長・議会運営委員長・担当課長）
- ⑤10月10日 新庄河川事務所長（議長・副議長・担当課長）



知事へ 要望活動

上記日程で、国会議員・県議会議員の方々や関係機関へ災害関連で要望を行っております。

地域の歳時記

神田地区

神田地区で12月23日に地域の老人クラブと子供達で地区公民館において門松作りが行われました。その後、そば打ちをして地域の大人と子供たちが交流を深めました。

古口地区

古口地区で地区内の児童達により、雪中田植えが行われました。毎年、お柴燈の日に行われています。稲わらと豆がらを束ねて種苗に見立ててその年の豊作を祈願し雪の

上に植えます。かつては、小正月の伝統行事で「庭田植え」とも呼ばれ、農家の仕事始めの儀式として行われていたそうです。昔からの各地域の色々な行事を子供たちに伝え、継承していく事も大事ではないかと感じたところです。



門松作り



雪中田植え

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

3月6日(水)から12日(火)

本会議は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局 72-2113にお問い合わせください。

編集後記

平成最後の年が明け、新しい年が始まり、皆様方には、気持ちを新たにしている事と思います。昨年は大きな災害が起きた年でしたが、私達は復旧に向けて、引き続き頑張っています。本年もみなさんから親しまれる「議会だより」をめざして編集をしてまいります。

議会広報副委員長 田中 奨

表紙の言葉



戸沢保育所の子供たちが、古口地区の乙夜塾の皆さんと一緒に団子木飾りを行いました。表紙は団子にする餅を大きな杵でついていっているところです。皆でついた餅をちぎって丸めてミズキの木にさして団子木を完成させました。

